

# 中施策評価書

作成日 令和05年 10月 30日

中施策事業名	土地区画整理事業	部課名	経済建設部・市街地整備課
		作成者	川島 康孝

①めざすまちの姿	10 日常生活は自然に親しむことができると同時に生活に不自由のないコンパクトシティになっている
②大施策	自然を確保しながら生活に不自由のない街をつくる
③中施策	生活利便性の高い街をつくる
④中施策事業の対象	市民及び転入者
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市民及び転入者が住みたいと感じるような市街地が整備されている
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>住居系新市街地整備（寺池地区）</li> <li>住居系新市街地整備（間米南部地区）</li> <li>都市構造再編集中支援事業（まち交）</li> </ul>

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況						
土地区画整理事業 によって整備された市街地の面積（ 市全域）	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	358.68	358.68	358.68	358.68	364.61
	実績値	358.68	358.68			
単位	ha					
新たに住居系の土地 利用が可能とな った区域の都市計 画決定面積	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	26	26	26	26	26
	実績値	26	26			
単位	ha					

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度		決算額		予算額
		令和03年度	令和04年度	令和05年度
① 総事業費(a+b)		129,437千円	54,467千円	
a	事業費合計	129,437千円	54,467千円	300,000千円
	人件費	人数	0人	0人
		b 金額	0千円	0千円
	非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人
		金額	0千円	0千円
人件費合計		0千円	0千円	
② 補助金等(収入)		0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)		129,437千円	54,467千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		1,881円	791円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

## ■総合評価

<p>上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析</p>	<p>A</p> <p>寺池地区は、計画通りに事業が進んでおり、令和4年度は保留地の売却先が内定し、資金計画も問題なく円滑に事業が推進されている。</p> <p>間米南部地区は、令和5年3月に組合が設立し、過年度に生じた事業遅延を軌道修正して現計画のスケジュール通りに事業が進んでいる。</p> <p>都市構造再編集中支援事業は、令和4年度も交付申請に対し満額の補助金が交付され、各事業を進められている。</p>
------------------------------------	--

## ■改善案の検討

<p>現年度に実施可能な改善・調整事項</p>	<p>寺池地区は、令和5年度に造成工事及び公園整備工事を完了するとともに、補助金交付の最終年度として、組合に対して補助金を交付する。</p> <p>間米南部地区は、令和5年度の仮換地指定が計画通りに事業を進めるためのコントロールポイントとなるため、事業の円滑な実施に向けてしっかりと組合及び業務代行者を指導・監督していく必要がある。</p> <p>都市構造再編集中支援事業は、新たに土地区画整理事業が追加される。</p>	
<p>翌年度以降に実施可能な改善・調整事項</p>	<p>寺池地区は、事業計画通り令和7年度の事業完了を目指して引き続き組合を指導・監督する。</p> <p>間米南部地区は、令和6年度以降も引き続き組合に対して補助金を交付するとともに、令和12年度の事業完了に向けて組合及び業務代行者を指導・監督する。</p> <p>都市構造再編集中支援事業は、交付期間が令和7年度までのため、令和6年度からは事後評価に取り組んでいく必要がある。</p>	
<p>今後、改善・拡大する事業</p>	<p>事業名</p>	<p>内容、理由、時期等</p>
<p>今後、実施すべき新規事業</p>	<p>事業名(仮称)</p>	<p>内容、理由、時期等</p>
<p>今後、休廃止する事業</p>	<p>事業名</p>	<p>内容、理由、時期等</p>

# 中施策評価書

作成日 令和05年 10月 30日

中施策事業名	工業団地整備事業	部課名	経済建設部・市街地整備課
		作成者	川島 康孝

①めざすまちの姿	32 市内に遊ぶ場所や働く場所があり、豊明市が潤っている
②大施策	地域の経済活動が盛んなまちをつくる
③中施策	産業の活性化を図る
④中施策事業の対象	市民及び転入者
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市民及び転入者が働きたいと感じるような産業用地が確保されている。
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柿ノ木工業団地整備</li> <li>・都市計画提案制度</li> </ul>

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況						
産業用地確保に取 組む面積	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	62	62	62	62	62
	実績値	62	62			
単位	h a					
地権者の合意状況	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	100	100	100	100	100
	実績値	85	85			
単位	%					

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和03年度	令和04年度	令和05年度
① 総事業費(a+b)			11,475千円	20,339千円	
人件費	a 事業費合計		11,475千円	20,339千円	10,560千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)			10,461千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			1,014千円	20,339千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			15円	296円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>B</p> <p>柿ノ木工業団地は、令和4年度から本格的に造成工事に着手するにあたり、地元町内会に対する工事説明会を実施し、円滑な工事の推進に努めることができた。</p> <p>豊山周辺地区は、地権者からの仮同意が必要数集まらなかったため、土地区画整理事業としての整備を断念することとなったが、引き続き産業系の開発を誘導するため、都市計画提案制度を活用した民間開発に切り替えるに至った。</p>
-----------------------------	--

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	<p>柿ノ木工業団地は、都市計画道路名古屋岡崎線の道路整備と連携し、地元住民の生活への影響を最小限に抑えながら円滑に事業を実施する。また、令和5年度は、柿ノ木開発事業負担金として愛知県企業庁へ負担金を支出する。</p> <p>豊山周辺地区は、引き続き事業の実現に向けて検討する。</p>	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	<p>柿ノ木工業団地は、令和7年度の方譲地引渡しを目指して愛知県企業庁とともに引き続き円滑に事業を実施する。また、開発区域外で生じる市負担の工事施工分として、令和6年度は愛知県企業庁及び愛知中部水道企業団へ負担金を支出する。</p> <p>また、都市計画道路名古屋岡崎線豊明中央工区の事業化に伴い、本路線の沿線で新たな産業用地の適地を検討していく必要がある。</p>	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等